感染症対策

株式会社ドクタートラスト

SAMPLE

© 2024 Doctor Trust Co., Ltd.

本日のセミナーの目的

1. 様々な感染症の種類と特性について知る
2. 感染症の正しい予防法を実践できる

本日の目次

1. インフルエンザ、コロナウイルス
2. 感染性胃腸炎（ノロウイルス）
3. 感染症の予防法
4. 感染してしまったら

SAMPLE

© 2024 Doctor Trust Co., Ltd.

なぜ冬に感染症が流行しやすいのか

人間の免疫力の低下

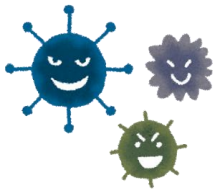
乾燥 → 喉や鼻の粘膜が弱る → **ウイルスが体内に侵入しやすくなる**

寒さ → 体温が下がる → **免疫力が下がり感染しやすくなる**

ウイルスにとって最適な環境

低温・低湿度な環境

↓



ウイルスが長く生存

SAMPLE

© 2024 Doctor Trust Co., Ltd.

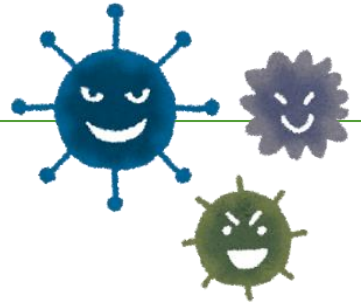
インフルエンザと風邪のちがい

	インフルエンザ	風邪
初期症状	発熱・悪寒・頭痛	鼻や喉の乾燥感・くしゃみ
主な症状	発熱・筋肉痛・関節痛	鼻水・鼻づまり
悪寒	強い	軽い・短期間のみ
発熱	38～40℃（3～4日間）	ない　または　微熱
全身痛・筋肉痛・関節痛	強い	ない
倦怠感	強い	ほとんどない
鼻水・鼻づまり	発症後期にある	発症初期からある
喉の痛み	強い	軽い
重症化	することがある	まれ

SAMPLE

© 2024 Doctor Trust Co., Ltd.

感染性胃腸炎とは



主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎

原因となるウイルス

- ✓ ノロウイルス
- ✓ ロタウイルス
- ✓ サポウイルス
- ✓ アデノウイルス

など

人間の腸管内で
どんどん増殖

1gあたり
100万個～10億個
のウイルス

100個以下のウイルスでも感染する非常に強い感染力

SAMPLE

© 2024 Doctor Trust Co., Ltd.

正しい手洗い

必要物品

- ハンドソープ
- 使い捨てペーパータオル
- 爪用ブラシ

15～20秒
2度洗いも
オススメ

タイミング

- 外出から帰ったとき
- 電車や公共の施設など人混みに行ったあと
- 飲食の前（間食も含む）
- トイレのあと
- 不潔なもの（ゴミや汚物など）に触れたあと
- 生肉・生魚・卵に触れたあと
- 咳やくしゃみをしたあと
- 咳やくしゃみをしている人に接したあと
- 動物に触れたあと
- マスクの着用前・着用後

SAMPLE

インフルエンザの疑いがあるとき

早めに受診・検査	**抗インフルエンザ薬** ウイルスが増殖しきったあとでは効果が低いため発症したらできるだけ速やかに受診する **対症療法** 辛い症状を緩和して体力の低下による重症化を防ぐ
自宅安静	**十分に睡眠をとる** 体がウイルスと戦うために不可欠 **食欲がなくても水分は摂取する** 脱水は重症化や死亡の原因となる

早めの抗インフルエンザ薬投与がポイントとなる

SAMPLE

© 2024 Doctor Trust Co., Ltd.

他人に感染させないために

インフルエンザウイルス排出期間

仕事は必ず
休みましょう

感染 → 潜伏期間 1～3日 → 発症 3～7日 → 軽快

最低でも**解熱後2日かつ発症後5日**過ぎるまで出勤は控える！

発症して3日経った！
もう熱はないし
仕事へ行こう！

© 2024 Doctor Trust Co., Ltd.